



～枕崎市教育委員会だより～

TEAMまくらざき

発行 枕崎市教育委員会
枕崎市中央町184番地
TEL 0993-72-0170
FAX 0993-72-0677

巻頭言

ものさし

枕崎市教育委員会 教育長 木之下 浩一

長雨が続き、梅雨真っ中である。どんよりとした空とは対照的な色鮮やかな紫陽花に癒されながらも、うっとうしい梅雨が早く明け、暑いけれども爽やかな夏が訪れることを心待ちにしながら、6月が終わろうとしている。

ところで、人間社会におけるうっとうしさは、季節のように梅雨から夏へと自然に移行してはいかない。永久に終わらない梅雨が心の長雨として降り続くこともある。たとえば他人の何気ない言動が、意に反して人の心を傷つけたり、不快な気持ちにさせたりすることがある。そのことにすぐに気付けば、謝罪することもできるが、往々にして気付かないことのほうが多い。

相手が直接不服を申し立ててくれればまだいい。しかし、大部分は、気分を害しても、それを口に出さずに黙っている。それなのに、その裏で「デリカシーに欠けた人」、「一緒にいると疲れる人」、「思いやりのない人」だと見定め、心を閉ざす。そうなるからでは人間関係の修復はなかなか難しい。

私たちは日々、多くの人と関わりながら生活している。その中で「なぜ、そのような考え方をするのだろう」、「自分ならこうするのに」と思うことがある。そのような違いが生じるのは、一人一人が異なる経験や環境の中で育ち、それぞれの「ものさし」を持っているからだと思う。

自分にとって当たり前のことが、他の人にとっても当たり前とは限らない。反対に自分には思いつかない考え方や価値観を持っている人もいる。私たちは知らず知らずのうちに、つい自分の「ものさし」で相手を判断してしまいがちだが、それだけでは相手の思いや事情を十分に理解することはできない。

学校は、さまざまな個性や考え方を持つ児童や生徒が集い、共に学ぶ場である。友達との意見の違いに戸惑うこともあるが、その違いこそが学びの機会となる。違いを即座に否定するのではなく、相手の話に耳を傾け、「そういった考えがあるんだ」と素直に受け止めることは、自分の視野を広げることにつながる。

近年は SNS の普及により、自分と異なる意見に触れる機会が昔と比べて格段に増えた。それに比例して考え方の違いから対立や誤解が生じ、トラブルを誘引することも少なくない。このような世の中だからこそ、相手を否定するのではなく、互いの違いを認め合い、尊重し合う姿勢がこれから先の未来を渡っていく上では、ますます大切になる。

子供たちには、自分の考えをしっかりと持つとともに、他者の考えにも耳を傾ける力を育ててほしい。私たち大人は、子供たちの良き手本として、多様な価値観を認め合いながら温かな地域社会を築いていきたいものである。

童謡詩人金子みすゞさんの「みんな違って、みんないい」という言葉がある。自分の「ものさし」だけで判断するのではなく、相手の「ものさし」にも目を向けること。その積み重ねが、思いやりにあふれた学校づくりや地域づくりにつながり、誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会が形づくられると信じている。自分の「ものさし」と他人の「ものさし」は異なるということを忘れることなく、常に心に留めておきたい。

7月の行事予定		
日	曜	行事
1	水	立神中宿泊学習(～2日)
2	木	市子連理事会② 市文化財保護審議会 給食センター運営委員会①
3	金	市校長研修会②
4	土	市公連運営研究会
5	日	ふるさと美化活動
6	月	別府中学校訪問 図書館休刊日 別府高齢者近隣研修
7	火	市町村教育長会第2回役員会、第1回専門部会 市養護教諭研修会 金山高齢者近隣研修
8	水	公立高校募集定員説明会及び第2回南薩地区教育長会・地区館連絡会(サンフレッシュ) 社会教育主事等研修会・人権教育指導者研修会(県民交流センター ～10) 県国画作品市審査会 地区公民館連絡会
9	木	市教頭研修会③ 桜山高齢者近隣研修
10	金	かつお釣り体験アドベンチャー研修会① 少年の船打合せおよび準備
11	土	少年の船(実施日)
12	日	ふるさと美化活動 県民スポーツ大会南薩地区大会
13	月	図書館休館日
14	火	立神高齢者近隣研修
15	水	第1回南薩地区社会教育担当者研修会(南さつま市) 少年野球大会抽選・監督会議
16	木	1学期給食終了
17	金	小・中学校終業式 市民あいさつ運動 かつお釣り体験アドベンチャー研修会②
18	土	夏季休業(～8/31) 青少年育成の日 少年の船予備日
19	日	家庭の日・市民会館休館日 川で遊ぶう 県青少年国際協力体験事業(～26) (ラオスで考える国際異文化ツアー)
20	月	海の日
21	火	図書館休館日
22	水	かつお釣り体験アドベンチャー研修会③ 地区給食センター連絡協議会夏期研修会(指宿市)
23	木	館内整理日(図書館) かつお釣り体験アドベンチャー研修会予備日
24	金	少年野球大会準備 地区小・中・義務教育学校校長研修会(南さつま市)
25	土	少年野球大会(～26)
26	日	青少年ふるさと美化活動 「野生爆弾くっさー!『乙女展in枕崎』」 (～8/30 南冥館)
27	月	図書館休館日 少年野球大会予備日
28	火	市いじめ問題対策連絡協議会 少年野球大会予備日
29	水	中生連常任委員会・顧問会①
30	木	授業力ブラッシュアップセミナー 市教育講演会・実践発表会・市教科部会
31	金	

市教科部会について

枕崎市教科部会は、枕崎市の先生方が、児童生徒に指導する各教科の学習指導の工夫や、改善等についての研究協議を行うための集まりです。授業に関する研修を通して、教職員の指導力の向上を目指すとともに、小中連携教育及び本市学校教育の振興を図るために、毎年行われています。

第1回目は6月12日(金)、市民会館にて行われ、今年度の研究テーマや年間研修計画について協議を行いました。学力の定着や向上を目指し、どの教科も「授業を通した研修」が計画されています。校種を越えて教科を通した横のつながりを広げ、お互いの実践のよいところを学び合い、それぞれの学校での授業実践につなげていくことが期待されます。また、5・6月は多くの学校で校区ごとの小中連携の研修会が行われています。各校区において、義務教育9年間を見通した系統的な学習指導や生徒指導を通して、時代を担う個性豊かでたくましい児童生徒の育成を各校区が目指しています。それ以外にも、学校の先生方は、多くの研修を通して学びを深めています。その成果を児童生徒に確実に還元できるよう、今後も学校・教育委員会一丸となって取り組んでまいります。

枕崎市教職員等バレーボール大会

6月13日(土)、枕崎市総合体育館を会場に、市内の小・中学校の職員が親睦を深めることを目的として、枕崎市教職員等バレーボール大会が開催されました。好プレーを称賛する声や、珍プレーを楽しむ笑い声が会場に響き渡っていました。結果は、優勝：別府連合、準優勝：枕崎中、第3位：桜山小中、立神小でした。



【白熱した決勝戦の様子】



【優勝の別府連合】

通級指導教室担当者研修について

通級指導教室の担当者等による研修会が開かれました。通級指導に関する知識及び技能に関する研修や、担当教諭による実践紹介がありました。

通級指導教室は、特別支援学級ではありません。児童生徒が抱える困りごとについて、週に数回程度、専任の先生と語り合い、考え、その解消を目指す教室です。

今年度9月、枕崎中学校に通級指導教室が開級します。生徒に必要な支援が届くよう、先生方は力を尽くしています。



安心・安全な子供たちの生活のために

6月19日(金)に市生活指導研究協議会と市校外生活指導連絡会が開催され、いじめ問題や問題行動について協議するとともに、学期末や夏休みに向けた生徒指導等について共通理解を行いました。

今回の市生活指導研究協議会では、架空の事例を用いて、小・中・高の連携という視点から協議を行いました。単なる生徒指導という観点だけではなく、個々の支援のあり方についても考えを深めることができました。

また、市校外生活指導連絡会では、枕崎警察署の生活安全刑事課の担当者から、今年度は、現時点において本市の小・中・高生が関係する補導事案はないことが報告されました。夏休みは目前です。本市の児童生徒が充実した夏休みを過ごせるよう地域での見守りをお願いします。

特別支援の考え方を、日々の生活に取り入れてみませんか？

特別支援教育の考え方は、特別な支援を必要とする児童生徒に限らず、全ての子供たちに対して有効であり、ほんの少しの工夫で、家庭でも安心して過ごすことができます。

1 選択肢を絞って提示する。

子供が家でダラダラしていると、「次に何をするか考えなさい!」と言いたくなることがありますよね。そんな時は、選択肢を絞って示してみましょう。「宿題をする?お風呂に入る?」と聞くことで、ご家庭の方にとって望ましい内容の中から子供が自ら行動を選択し、決めやすくなります。

2 場所を決めて行動する。

宿題をする場所、ゲームをする場所、ゆつくりする場所を決めておくと、環境の区切りが行動の区切りとなり、生活にメリハリが生まれます。家